学校番号	３１８

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　公共（第一学習社）						
副教材等	公共ノート（第一学習社） クローズアップ公共 2026（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

法、経済、政治の仕組みを理解し、現代社会の諸課題を解決するための「概念（公共性、正義、公正など）」を習得し、客観的なデータに基づき、論理的に考察する力を養い、自分の意見を他者に説明し、対話を通じて考えを深め、異なる価値観を尊重し、より良い社会の形成に向けて主体的に関わろうとする態度を身につけることが必要となってくる。

上記の目標を達成するために、現代社会の最新の動向にも興味をもち、生徒自身の考えや思想を形成し、自身の意見が言えるようになることを目標にしてほしい。授業で基礎知識や考え方を学び、それを主体的に自分ごととしてとらえることが、この科目の理解につながると考えている。

2　学習の到達目標

人間と社会のあり方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
・現実社会の諸課題の解決に向けて選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
・よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としてのあり方、生き方についての自覚や公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	公共の扉	第1編 第1章 公共的な空間をつくる私たち I. 公共的な空間と人間とのかかわり 1. 社会に生きる私たち 2. 個人の尊厳と自主・自律 3. 多様性と共通性 4. キャリア形成と自己実現 II. 社会に参画する自立した主体として 1. 伝統や文化とのかかわり	(a) 人生の中で青年期はどのような意味をもつのか、自らの体験などを振り返ることを通して自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。 (b) 公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 (c) 公共的な空間をつくる私たちについて現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 授業中の確認テスト	定期考査 授業中の確認テスト	学習状況の観察 プリントや副教材の記述
		第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 I. 人間としてのあり方生き方についての探求 1. 人間と社会のあり方についての見方・考え方 2. 実社会の事例から考える～環境保護 3. 実社会の事例から考える～生命倫理 II. 選択・判断の手がかりとなる倫理的価値 1. 公共的な空間を形成するための考え方 2. よりよく生きる行為者として活動するために	(a) 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 (b) 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験などを通して多面的・多角的に考察、表現している。 (c) 公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			

		第3章 公共的な空間における基本的原理 I. 自立した主体となることに向けて 1. 人間の尊厳と平等 2. 個人の尊重 3. 民主政治の基本的原理 4. 法の支配 5. 自由・権利と責任・義務 II. よりよい公共的な空間づくりをめざして 1. 世界のおもな政治体制 2. 日本国憲法に生きる基本的原理	(a) 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 (b) 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し表現している。 (c) 公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	第2編 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割 1. 私たちの生活と法 2. 法と基本的人権 3. 自由・平等と法・規範 4. 法をよりよく変えていくために人間の尊厳と平等	(a) 法には国家と国民の間を規律する公法や私人間を規律する私法などがあること、法は刑罰などによって国民の行為を規制し社会の秩序を維持するだけではなく、国民の活動を積極的に促進し、紛争を解決するなど日常生活に密接に関連していることを理解している。 (b) 生徒に身近な紛争や課題を取り上げ、どのようにすれば公平・公正に調整できるのか、主体的なルールを作成・利用することで考察、構想、表現している。 (c) 法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 授業中の確認テスト	定期考査 授業中の確認テスト	学習状況の観察 プリントや副教材の記述

		主題2 契約と消費者の権利･責任 1. さまざまな契約と法 2. 消費者の権利と責任個人の尊重	(a) 現実社会の諸課題に関わる諸資料から自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。 (b) 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現している。 (c) 契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を具体的な例をもとに主体的に解決しようとしている。			
二学期		主題3 司法参加の意義 1. 裁判所と人権保障	(a) 現実社会の諸課題に関わる諸資料から自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取りまとめる技能を身につけている。 (b) 検察審査会や国民の司法参加の意義など具体的な主題を設定し、その主題を追究・解決するために考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現している。 (c) 司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 授業中の確認テスト	定期考査 授業中の確認テスト	学習状況の観察 プリントや副教材の記述
		第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論の形成 1. 選挙の意義と課題 2. 政治参加と世論形成 3. 国会と立法 4. 内閣と行政の民主化 5. 地方自治と住民の福祉	(a) 選挙権年齢が 18 歳以上であることを踏まえ、選挙の意義や政治的無関心の危険性などについて理解している。 (b) 地方自治には直接民主制の考え方に基づくしくみが国政よりも多く取り入れられていることを理解しつつ、地方自治の課題についても考察、構想し表現している。 (c) 政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			

		第3章　経済的な主体となる私たち 主題8　雇用と労働問題 1. 私たちと経済 2. 労働者の権利と労働問題	(a)　企業・家計・政府の三つの経済主体を考え、経済的な主体となる私たちはどのように経済活動に参加しているのか，理解している。 (b)　雇用と労働問題について、日本的雇用慣行の崩れなど現代の諸課題を主体的に考察、構想し論拠をもって表現している。 (c)　雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	定期考査 授業中の確認テスト	定期考査 授業中の確認テスト	学習状況の観察 プリントや副教材の記述
		主題9　社会の変化と職業観 1. 技術革新の進展と産業構造の変化 2. 企業の活動 3. 農林水産業の現状とこれから	(a)　社会の変化と職業観について、人工知能の進化の影響など現代の諸課題を理解している。 (b)　企業の役割や種類から株式会社のしくみや企業の社会的責任について考察、構想し論拠をもって表現している。 (c)　社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し自分の将来のあり方について考えようとしている。			
三学期		主題 10　市場経済の機能と限界 1. 市場経済と経済運営 2. 市場経済のしくみ 3. 経済発展と環境保全 4. 経済成長と国民福祉	(a)　経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。 (b)　経済成長が生活に与える影響の具体的事例をあげて考察している。 (c)　市場経済の機能と限界について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 授業中の確認テスト	定期考査 授業中の確認テスト	学習状況の観察 プリントや副教材の記述

		主題 11　金融のはたらき 1.　金融の意義や役割	(a)　金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 (b)　自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり、構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 (c)　金融のはたらきについて現代の諸課題を主体的に取り組もうとしている。			
		主題 12　財政の役割と社会保障 1. 政府の経済的役割と租税の意義 2. 社会保障と国民福祉	(a)　財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 (b)　財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について具体的に事例をあげて考察、構想し主体的に考えている。 (c)　財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
		主題 13　経済のグローバル化 1. 国際分業と国際貿易体制 2. 国際収支と為替相場 3. 経済のグローバル化と日本 4. 地域的経済統合の動き 5. 国際社会における貧困や格差 6. 地球環境問題 7. 資源･エネルギー問題 8. 国際社会のこれから	(a)　経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 (b)　貿易の意義、円高・円安が生じる理由、貿易摩擦などについて考察、構想し表現している。 (c)　国際協力のあり方、国際協調の重要性から日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度